

修学支援

【学習支援について】

本学では学生担任制を設けており、学生は、学期開始時のみならず、常時、学生担任教員の指導を受けることが可能であるが、全体を対象としたガイダンスを、1年次は入学時に、2年次は前期履修登録開始前の4月初旬に実施している。また、履修登録に際して、必ず学生担任教員と相談するよう指導している。

特に、1年次前期には、全学生担任教員が「工学基礎演習」または「工学基礎演習Ⅰ」（ともに必修）を実施し、大学での勉強方法、レポートの書き方、数学や物理などの基礎知識の確認、復習等を目的に指導を行っている。

・基礎学力の向上のための支援

本学では正規の補習授業は設けていないが、工学を学ぶために重要な基礎科目である数学や物理について高校の講義内容を含み専門科目との関連付けを説明する講義・演習科目を設けている。

なお、入学前準備教育として、学校推薦型選抜入試、総合型選抜入試合格者に対して数学課題添削および数学基礎学力講座を実施し、入学予定者の基礎学力向上を図っている。

・学習支援室

学科の専門科目を修得するうえで、学力などの面で不安を感じたり、また授業の内容が理解できなくなり、授業へ出席しづらくなった場合に、「相談できる教員がいる勉強部屋」のコンセプトのもと教員が相談を受け付け、解決に向けてサポートする部屋を学科毎に設けている。

・ものづくり工作センター

ものづくりに興味・関心のある学生を集めて、企画→設計→製作というプロセスを考えさせ、アイデアを具現化していくプロジェクト活動を実施し、活動で得た成果を、各種イベント・コンテストで発表している。

・学生担任制による支援

本学が導入している学生担任制では、学科別・学年別に学生を少人数グループに分けて、グループ毎に学生担任教員をおいている。学生担任教員は、学生の学習上の問題、悩みはもちろん、クラブ活動、アルバイト、進路や日常生活など勉学以外の面についても助言、指導を行っている。また、出席状況が良好ではない学生に対しては、本人への直接の連絡はもとより保護者と連携しながら指導を行っている。

さらに、教員は全員オフィスアワーを設け、授業に関する質問やその他の相談にも応じる体制を整えている。